

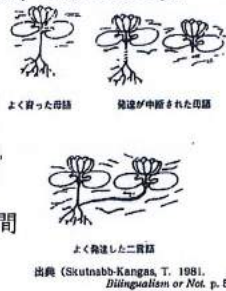
海外における幼児の日本語教育

私達 Japanese Children's Society はニューヨーク、ニュージャージー地域で創立以来36年間、幼小一貫の日本語教育に携わってきました。人格形成上大切な幼児期を、日本語で、愛情をたっぷり注いだシャワーにて豊かな日本語環境を提供しようと、職員一同努力して参りました。

幼児から小学生の子ども達は、母語・母文化の基礎作りの大切な時期にいます。特に母親との「ゆりかご時代」(0~2才)を楽しく過ごす為、「親子クラス」を創立当時より運営しています。幼稚園に入る年齢の「子どもべや時代」(3~4才)には日本にいる子ども達同様に、計画的にリズム遊び・歌・絵本の読み聞かせ等を繰り返し、自然にことばを吸収できるようにしています。幼児部から小学部の子ども達(5~7才)は「学校友達時代」に入りますが、母語である日本語の基礎がしっかりしていれば、親の文化アイデンティティと直結して、第2言語が入った場合も日本語が消滅しません。根なし草にならない為にも根づくりは親、大人の大切な仕事です。(※はすの花の図参照)

最初に吸収する母語が中途半端であると、その次のことばも中途半端になる傾向があると言われています。幼児期の第2言語は早く吸収しますが、消えるのも早いのが事実です。まずは母語をよく育てるのが肝要なのです。

私達の小学部には、6年前より週に10時間の英語授業(NY育英クロスメソッド)を導入して成果を上げています。先日の国連での「平和の鐘記念式典」でも、全日制の児童が堂々と英語の朗読とスピーチをして拍手喝采を受けました。基礎の日本語の上に第2言語としての英語が花開いている訳です。学園では、幼児部でも日本語を大切にしつつも、年齢に合わせて英語の時間を増やしています。大切なのは、日本語と英語を混用しないできちんとした使い分けのできるバイリンガルになっていくことです。大人になって世界のどこで働くことになっても、サバイブしていける自信を持った力強い人財に育つよう願っています。



出典 (Scitnabb-Kangas, T. 1991. Bilingualism or Not, p. 53)

この頃、親のどちらかがヨーロッパ人あるいはラテンアメリカ人や中国、韓国等アジア人である場合は、日英ともう1つの言語も身につけている子も珍しくはありません。子ども達はけなげに多言語社会に生きています。将来東洋と西洋の両方の文化を吸収したこの子達は世界のどこにいてもリーダーになっていくことでしょう。現在、当地アメリカで生まれ、当地で生きていく日本人が徐々に増えています。それら永住者、バイリンガルの子ども達が、アメリカにいなながらグローバル化した日本文化の担い手になっていきます。その為にも、英語の波に押し流されないよう、私達は保護者と協力して子ども達の日本語・日本文化の基礎作りを力を注いで参ります。

世界で一番ネイティブになるには難しい言語のひとつ「日本語」を、ニューヨークにいなながら幼児期から年齢に合わせて学ぶ子ども達の将来は洋々としています。幼児期から楽しみながら学び、価値観の違いを自然に吸収していけるよう、私達は精一杯手助けしていこうとしています。学園にはオープンハウスの日が多くなります。是非、見学にいらして下さい。

皆様のご来園をお待ちしています。

ニューヨーク育英学園学園長 岡本 徹

バイリンガル教育にご興味のある方々に、一読をおすすめしたい2冊をご紹介します。

- ★「言葉と教育」 トロント大学名誉教授: 中島和子/財団法人海外子女教育振興財団
- ★「英語学習は早いほど良いのか」 バトラー後藤裕子/岩波新書



全日制小学部第五学年度 (絵) 作田 莉子

~今号の目次~

- P.1 海外における幼児の日本語教育
- NY育英学園主催第3回トリエンナーレ自由の女神アート作文コンクール募集終了のお知らせ
- P.2 NJキャンパス全日制部門からのお知らせ
- P.3 全日制英語科からのお知らせ
- P.4-5 フレズア카데미からのお知らせ
- P.6 JCSのご案内
- 2017年度NY育英学園全部門募集要項・登録要項発表
- P.8 NY育英学園合同書写展報告
- P.9 NY育英学園夏休み自由研究作品合同展示会報告
- P.10 第4回東北被災地児童招待2016報告
- 2016年度サマーディキャンプ・レイクグリーリー宿泊キャンプの報告
- P.11 2016年度スキー教室・スキーキャンプ募集
- シリーズ「先輩から一言」
- NY育英学園職員ペンフレター
- P.12 NY育英学園ファンレイジング報告

2016年10月末日をもって、本学園主催第3回「トリエンナーレ自由の女神アート作文コンクール」の公募を締め切らせて頂きました。入賞者の発表は2017年3月1日に、当学園のホームページ上にて行う予定となっております。どうぞお楽しみに。

表彰式 2017年3月19日(日曜日) NY日系人会ギャラリーにて

展示会場

- ① NY日系人会ギャラリー (2017年3月19日~2017年3月24日)
- ② 在NY日本国総領事館広報センターギャラリー (2017年4月4日~2017年4月29日)



NJ キャンパス 学びを支える施設・設備



鉄棒

季節の体験活動や
体育的活動をダイ
ナミックに展開し
ます。



学園伝統の

米作り活動

5年生社会科で学
習する米作りを、体
験的に学習します。
初まきから稲刈りま
での一連の作業を学
園内の田んぼで行い
ます。



体育科学習「走り幅跳び」
にも対応した砂場



学級園



全面天然芝 グラウンド

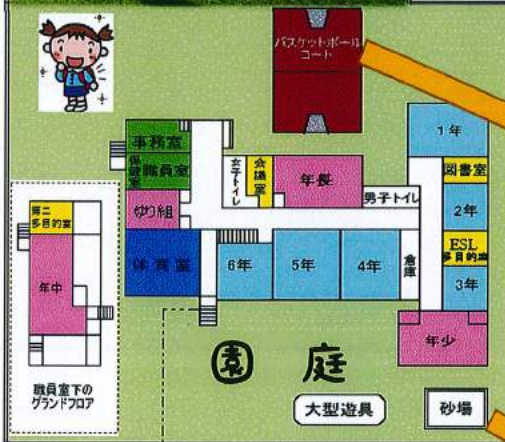


学外施設

大運動会
Winton White 競技場
(Englewood, NJ)

水泳教室
YMCA 室内プール
(Garfield, NJ)

スケート教室
Ice House スケート場
(Hackensack, NJ)



バスケットボールコート

教育の情報化への対応



全教室にスマート
ボードを設置し、
iPad とともに教科
指導に効果的に活用
しています。

緑いっぱいの園庭では、子ども達は遊
具や砂場を使って元気に遊びます。

砂場



大型遊具



のびのびと学び 自ら鍛える子の育成

お問い合わせ/全日制教頭: 大村 功

NY育英学園のバイリンガル教育



全学年参加！ 迫力満点の英語劇

～学園祭で日本語劇と英語劇の両方を披露～



2015年学園祭英語科 2年生の発表 月面着陸シーン



2013年学園祭英語科 高学年の発表 スーパーマリオの冒険



2013年学園祭英語科 低学年の発表 Insect City

英語劇による英語力の向上

演劇は、言葉だけでなく体を使って表現する中で、創造力や表現力を高めることができます。また、個々の創造力や表現力を向上させるだけでなく、実際の発表の場を設け、発表に向けての練習を先生や友だちと話し合いながら進める中で、子どもたちのコミュニケーション力が高められ、相互の人間関係が良好になって、よりよい学校生活が送れるようになるなどの効果も実証されています。それは、日本語だけでなく、英語でも同じことです。普段英語を使って積極的にコミュニケーションすることを苦手と思っている子どもたちにとっては、アメリカ人の先生から英語で劇の指導を受けながら、セリフや演技の練習をすることが、子どもたちの英会話力の著しい向上につながります。

全日制日本人学校でありながらも、いや日本人学校であるからこそ英語教育を重視し、毎日のカリキュラムに取り入れてきたNY育英学園では、こうした演劇の効果を早くから見出し、英語教育導入当初より、学園祭において各学年による日本語による劇などの発表の他に、全学年参加による英語の劇や歌の発表の場を設け、バイリンガル教育を推進してきました。

英語科による発表は、小学生全員の参加となるため、子どもたちを学年などのグループで分け、いくつかの違う場面をそれぞれのグループが入れ替わりながら演技をしたり歌を歌ったりします。過去の学園祭では、主にアメリカの文化や歴史、あるいはアメリカを代表する文学作品や人物など、アメリカに関するテーマを選んで発表を行ってきました。40分という発表時間の中で一人一人が英語で台詞を言う機会を設けられるようにするとともに、全学年で英語の歌を合唱したりと、子どもたちにとって思い出深いものになっているようです。

今年の学園祭（月 日土：オープンハウス）での英語劇の発表の様子（お楽しみ会）

写真上：2014年学園祭英語科低学年全員による合唱

<過去の学園祭での発表例>

- 2007年 Mary Poppins（イギリス児童文学『メアリー・ポピンズ』より）
- 2008年 A Musical Trip Across America（アメリカ各地をフォークソングで紹介）
- 2009年 Games Children Play in America（アメリカの子どもたちの伝統の遊び）
- 2010年 Walt Disney's World of Dreams（ウォルト・ディズニーの伝記と代表作）
- 2011年 Ikuei Vaudeville Show（かつてのアメリカショービジネスの現代版）
- 2012年 高学年 Lucky Charm（タイムマシンに乗って過去の世界各地を冒険）
低学年 When You Wish Upon A Starfish!（海の生き物たちの世界を冒険）
- 2013年 高学年 Super Mario All Stars Adventure（スーパーマリオの世界を冒険）
低学年 Insect City（Magic School busに乗って昆虫の世界を冒険）
- 2014年 高学年 Nightmare at the Museum（映画『ナイト・ミュージアム』より）
低学年 Madagascar（映画『マダガスカル』より）
- 2015年 The 60's（アメリカの1960年代の出来事をThe Beatlesの歌とともに紹介）

*2012-2014年は高学年（4,5,6年）と低学年（1,2,3年）に分かれてそれぞれ英語劇を披露しました。

お問い合わせ/全日制英語科主任：飯田 名生子・アドバイザー：中川 晴美

フレンズアカデミー

フレンズアカデミーは、1997年にニューヨーク育英学園のマンハッタン校として開校しました。様々なニーズに合わせ子どもたちの大切な幼児期を「安心かつ、楽しく過ごすように」という思いから、年齢に合わせた多様な教室・プログラムが展開されています。

今回はたんぽぽ幼稚園りす組の魅力について詳しくご紹介します。



★フレンズアカデミーたんぽぽ幼稚園★



全日制部門(りす組)(年少・年中・年長児)※日本の学齢によるクラス編成。

日時 毎週月曜日～金曜日(週5日制)
1日保育 9:00～15:00 ※お昼寝時間あり(年長児除く)
※早朝保育・延長保育あり

内容 マンハッタン地区唯一の全日制幼稚園。年齢に応じた心身や言葉の成長を促し、社会性の基礎を培います。年齢に応じた英語の時間(週1～3回)を設け、日本語環境を主にしつつ、国際的感覚の芽を育てます。

たんぽぽ幼稚園 今年のテーマは「サイエンス」

子どもたちはリトルサイエンティストを目指して、日々研究活動に励んでいます。現在までに取り組んだ活動を紹介します。

「色」について

「色の三原色」を使っの様々な色遊びやジュース屋さんを扮しての色ジュース作り。スポイトを使って混ぜながら色の変化の様子をクラス皆で観察しました。

「植物観察」

園庭には春から子どもたちが丹念に育てたトマトがいっぱい。苗が大きくなり、トマトが実るまでの様子を観察し、その様子を画用紙に描きました。

「宇宙」

お月見の話から、今度は宇宙に浮かぶ星や月について宇宙の神秘について学んでいます。

楽しい自由遊びの時間！



全日制部門りす組の1日

9:00	登園
9:00～9:45	自由遊び(それぞれが好きな遊びをします)
9:45～9:50	片付け(遊んだ物は自分たちで片付けます)
9:50～10:10	朝の会(健康観察・挨拶・連絡等)
10:10～10:50	活動(今年のテーマはサイエンス)※
10:50～11:20	外遊び(徒歩数分のリバーサイドパークで遊びます)
11:20～11:30	昼食準備(自分達で食事の準備をします)
11:30～12:30	昼食(感謝の気持ちを込めていただきます)
12:30～13:00	自由遊び(食べ終わった子から静かに自由遊び)
13:00～14:15	お昼寝(横になって体をしっかりと休ませます)
14:15～14:40	おやつ時間
14:40～14:50	帰りの準備(ここでも自分たちで帰りの準備をします)
14:50～15:00	帰りの会
15:00	降園

美味しいお弁当を頂きます！！



お昼寝中！！！！



フレンズアカデミー

サマースクール・夏の終わりのサマースクール

【6/27(月)～9/2(金)】

フレンズアカデミーでは6月27日(月)から9月2日(金)までおよそ2か月に渡ってサマースクールが行われました。この間のべ350人ももの園児・児童が参加し、毎週テーマに沿った様々な体験や経験を通して日本語を学びました。

製作の時間

花笠、コップの水族館、手作り草履等をみんなで作りました。どの子もできがった作品に大満足!



夏祭り

それぞれが浴衣や甚平を着て、輪投げ、スーパーボールすくい等、夏の風物詩である縁日を満喫しました。



ウインタースクールのお知らせ

冬の日本語プログラム 【12/26(月)～12/28(水)】

わらべ歌、手遊び、歌、伝承遊びなど、日本の冬ならではの活動を通して、日本語のシャワーを休いっぱいに浴びます。伝統的な日本のお正月についても学びます。お正月遊びでは、羽根つき、駒回し、かるた、ちぎり絵による年賀状作り、獅子舞づくりを体験します。どうぞ奮ってご参加ください。

親子クラス(1歳～2歳) 10:00～11:30

※保護者と一緒にご参加ください。

幼児クラス(3歳～6歳)

午前クラス 10:00～12:30

1日クラス 10:00～15:00

定員:各12名

※詳細についてはフレンズアカデミー事務局までお問い合わせください。(212-935-8535)



遠足

毎週1度行われた遠足では恐竜公園、タートルバック動物園、自然史博物館等に行き、異学年縦割りの参加者同士の交流を深めました。



お問い合わせ/フレンズアカデミーディレクター:河野 茂



NY 育英学園主催コンクール・展示会

二〇一六年度 ニューヨーク育英学園クラブ書写コンクール入賞作品

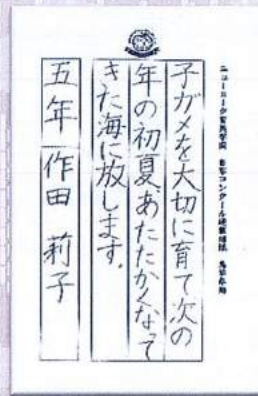
硬筆の部



★学園長賞★

石原 果歩

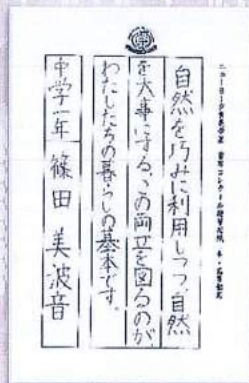
サタデーNJ校 小1



★学園長賞★

作田 莉子

水曜書道教室 小5



★学園長賞★

篠田 美波音

サタデーNJ校 中1

毛筆の部



★学園長賞★

星野 彩姫

水曜書道教室 小3



★学園長賞★

作田 莉子

水曜書道教室 小5



★学園長賞★

久保田 絢子

水曜書道教室 中1

★受賞者一覧★

硬筆の部

学園長賞

- ・石原 果歩(サタデーNJ校 小1年)
- ・作田 莉子(水曜書道教室 小5年)
- ・篠田 美波音(サタデーNJ校 中1年)

優秀賞

- ・福岡 仁義(サタデーNJ校 小3年)
- ・池上 結(水曜書道教室 小6年)

特選

- ・ブラッドフォード 絵鈴(日曜寺子屋 小3年)
- ・北川 想(サタデーM校 小5年)

毛筆の部

学園長賞

- ・星野 彩姫(水曜書道教室 小3年)
- ・作田 莉子(水曜書道教室 小5年)
- ・久保田 絢子(水曜書道教室 中1年)

優秀賞

- ・小林 利史(サタデーPW校 小1年)
- ・ワインガーツ 帆那マリー(水曜書道教室 小4年)
- ・古橋 佳子(サタデーNJ校 中1年)

特選

- ・青木 結飛(水曜書道教室 小3年)
- ・池上 結(水曜書道教室 小6年)

第三回目の育英学園クラブ書写コンクールも、沢山の応募者の中から厳正な審査の結果、右記の方々が受賞されました。受賞された皆様、おめでとうございます。

尚、受賞作品は各校、及びニューヨーク紀伊国屋で展示されますので、NY育英学園ホームページにて、日程をご確認ください。

お問い合わせ/全日制書写専科..百合 素子

二〇一六年度、第三回目のニューヨーク育英学園クラブ書写コンクールが行われました。年々、子ども達の書写技術が上がっており、日ごろの練習の成果が表れている、勢いのある力作揃いの作品ばかりでした。また、各校の指導教員が異なるので、それぞれ違った個性の作品が出品されており、とても楽しい審査となりました。(百合 素子)



NY 育英学園主催コンクール・展示会



今年で第3回目となった「ニューヨーク育英学園夏休み自由研究合同展示会」では、ニューヨーク育英学園の様々な部門からの力作が揃いました。また、その中でも「創造性があり、自らの言葉と力でまとめたもの」と認められた作品には、NY育英学園夏休み自由研究合同展示会選定委員会オリジナルの「いいですね！」シールが貼付され、合同展示会で一際輝きを放っていました。

9月28日から10月9日まで開催された展示会は、オープンハウスとしてたくさんの方々にご覧頂くことができました。また、展示会最終日は育英バザーということもあり、熱心に研究物に見入ってアイデアに感心している様子が見られました。

来年度も引き続き実施いたします。様々な分野における素晴らしい自由研究をお楽しみに。
◎「いいですね！作品一覧」は学園のホームページでもご覧頂けます。

お問い合わせ／新企画担当：牧野 佳代子

～NY 育英学園夏休み自由研究合同展示会選定委員会による「いいですね！」作品一覧～

所属名	学年	児童生徒氏名	作品名	
全日制 (ニュージャージー)	小1	江口 陽介	「けんぴきょうでみてみた」	
	小1	佐藤 灯穂	「てこれてあんぱんどちーずぱん」	
	小1	近藤 穂果	「くらげのけんきゅう」	
	小2	原 遼人	「アリジゴクってなに？」	
	小2	スチュワート スカーレット	「しよくぶつはどうやって生きてるのか セロリのじっけん」	
	小3	小曾納 正赤	「石園のおしりの作り方」	
	小3	廣井 翔	「海でい火山を作ってみた！」	
	小4	長谷川 丈	「セントラルパークをさぐれ！」	
	小4	清水 崇太	「しゃぼん玉えきの作り方」	
	小4	池上 史織	「みんなの指もんを調べよう！」	
	小5	岡田 祐	「兵糧丸を作ってみた！」	
	小5	石ヶ原 ジュリアン	「紙ブーメランの実験」	
	小5	石原 綾乃	「日本 全国各地の方言」	
	小5	池上 結	「寒天を使って電気分解をしよう！！」	
	小6	原 歩花	「世界最速！ 超電導リニアモーターカー」	
	サタデースクール	NJ校	小1	鈴木 健斗
小1			澤井 陽	「はりこのおめんづくり」
小2			福岡 大和	「金魚について」
小2			竹澤 澄礼	「もんしろちょうのかんさつ」
小2			宇都宮 江奈	「アメリカ地図」
小3			澤井 柚	「エドガー ドガ」
小3			福岡 仁義	「ゆうやくをぬったらどうなるか」
小3			山内 崇仁	「ハチのけんきゅう」
小4			小毛田 慶花	「カナダグースのすべて」
小4			及川 大輝	「グランドキャニオンに学ぶ土地のつくりと変化について」
小4			加藤 大智	「海水からのしお作り」
小5			廣井 優貴子	「グミよ光れ」
小6		原 大和	「シリコーンの魅力！」	
中1		武重 和美	「NY野生カエルの生活」	
中1		古橋 佳子	「☆日本の政治☆ (社会科の授業風)」	
PW校		小1	小林 利史	「ダンキンドーナッツについて」
		小1	須田 健太	「いろくらべ」
		小1	高梨 航成	「カブトムシとクワガタムシのかんさつ」
		小1	羽生 太陽	「かき氷のキーホルダー」
		小1	山原 悠輝	「おりがみすいぞくかん」
		小1	山西 佳苗	「アイスキャンディーをつくろう」
		小2	ドネリー 優希	「天敵のいない鳥たちはどうしてつよいのか」
		小3	有沼 ほのか	「キャンディバッグをつくろう」
		小3	東山 祥暉希	「Fallingwater (落水そう)」
	小3	東山 祥来杜	「ナイアガラのたき」	
	小3	船富 晴	「電気を通す物 通さない物」	
	小4	福田 優羽	「世界の国々について」	
小5	有沼 ひなた	「ジョン・F・ケネディは何をした人？」		
小5	乗秀 香名	「山に生きる」		
小6	磯嶋 莉那	「ソクゾクする17～人の選ぶ数はサイコロの様に平等か～」		
M校	小1	トクダマン 仁華	「きれいなおさかなたち」	
	小2	マーテル エリアース 夢	「キャンプファイヤーでオープンをつくってピザをやく」	
	小2	北川 昌輝	「セミの生まれ方」	
	小3	マーテル リディア 望	「100歳になるまでのたん生日は、何曜日が多いかを考える」	
	小4	藤村 佳怜	「マカオ訪問記」	
	小4	ブクリン ジョセフ 聖	「さとの夏休み新聞」	
	小4	ロング 亜里沙	「お母さんのふるさと」	
	小5	小田 枝梨加	「3Dプリンターについて」	
	小5	モリス 舞真	「乳製品を自分で作ろう」	
	小6	ブリシ フランシエス エ	「オリンピック選手、パラリンピック選手への道とインタビュー」	
	小6	富田 愛花里	「紫のなぞ」	
	中2	大前 愛	「ヒヨドリの生態」	
中2	志茂 奈優	「黄金比」		
中2	山原 理奈	「血友病とヨーロッパの王室」		
中3	ダウド 司	「ツタンカーメンの墓の向こうに隠し部屋？」		
サンデースクール	小4	藤田 恵悟	「にわたりのたまご」	
	小6	南 拓海	「一度は登りたい日本一の山 富士山」	
アフタースクール	(出品がありませんでした)			
フレンズアカデミー	(出品がありませんでした)			
ホームスクールシステム	(出品がありませんでした)			

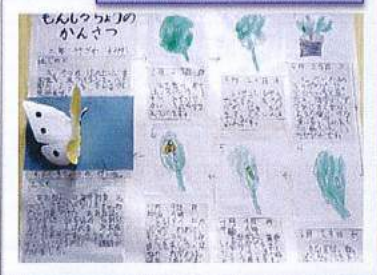
審査の様子



アリジゴクってなに?



もんしろちょうのかんさつ



一度は登りたい日本一の山 富士山



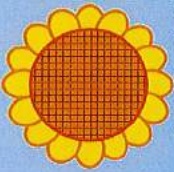
一展示会一
鑑賞の様子



～東北児童招待～

第4回アメリカサマー留学

ニューヨーク育英学園
では現在も東日本大震災で
被災した子ども達を
応援しています。



ニューヨーク育英学園主催『アメリカサマー留学』は、おかげさまで今年で4回目を迎えました。今年も東日本大震災で家族の一員をなくした児童2名をアメリカに招待しました。日本を出発する前から、ワクワクがとまらなかった招待児童の二人は、本学園サマーデイキャンプで行なう英語クラスや水泳教室、遠足を現地の子ども達と楽しみ、週末はニューヨークやニュージャージーに観光に出かけたりと、アメリカで新しい発見・経験をたくさんしました。今回の経験がきっかけとなり、さらに大きく成長して、また学園に顔を見せに帰ってきてくれることを願っています。

また、この度、本企画に対し多くの方よりご協力を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。前年に引き続き、あしなが育英会様からは、企画運営協力から子ども達のケアまで、たくさんのご協力を頂きました。ニューヨーク日系人会様よりも前年度同様に、4000ドルの寄付金を頂き、またデルタ航空（日本支社）様からも航空券寄付及び付き添いサービスを今夏もご支援いただきました。また、学園在籍者のご家庭がボランティアとして招待児童のホストファミリーとなり、子ども達の滞在をサポートしていただきました。さらに、別の学園在籍保護者の方よりもNY土産購入費用をご支援いただき、また、学園にて設置しておりました募金箱にも多数のご支援をいただき、本企画にて大切に使用させていただきました。

本企画が無事終了いたしましたのも、皆様の温かいご協賛やご支援、ご協力があったからこそと職員一同心より感謝しております。本学園では被災した子ども達を支援する企画を今後も継続してまいります。引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



お問い合わせ先：
担当 山田 亜香里 / 島田 さゆみ
Phone: (201)947-4832(学園事務局)
E-mail: invitation.nyikuei@gmail.com



【第34回】2016年度育英サマー

デイキャンプ、キャンプ、野球教室&いろはにほんご教室

今年で34回目を迎えたニューヨーク育英学園のサマープログラム。幼児部・小学部のデイキャンプ、小学生から中学生までが一同に参加する2週間にも及び宿泊キャンプ、専門的な指導による野球教室やいろはにほんご教室など、様々なプログラムを皆様にご提供致しました。「デイキャンプ」では、幼児部、小学部共に大人気の本格的な水泳教室や、幼児部で行われた本物の動物と触れ合える体験、忍者の修行体験等、子ども達の五感を育てるワクワクするようなイベントが盛りだくさんありました。また、小学部では、専門の指導者による理科の実験教室が数回開かれ、化学反応を学びながらバブルバスを手作りしたり、片栗粉のダイラタンシー現象を使って実際に水上を歩いてみたりと、遊びながら学んだり発見したりすることができる、体験型キャンプでした。更に、一泊二日の森の中でのキャンプでは、飯盒炊爨をしたりキャンプファイヤーをしたりと、日本らしい野外キャンプで友情を深めたようです。毎日行われている「野球教室」も、礼から始まり礼で終わる日本式の野球指導が人気でした。子ども達のお楽しみは、教室の後半に行われるチーム対抗戦です。闘志燃える野球少年達が熱く戦い、先生カードをどのチャンスで使うか、知恵とカの本気勝負で盛り上がりました。「いろはにほんご教室」では、英語を交えながら日本の文化や言葉を学ぶ『Nihongoクラス (JSL/JFL)』、そして日本語の読み書き等基礎を学ぶ『日本語クラス』、更に国語としての日本語を教科書を元に学べる『国語クラス』と、3つのレベルに分かれたクラス設定になっており、多様なニーズに合わせたアフタースクールを売りにしています。「宿泊キャンプ レイクグリーリー」は、世界各国から人が集まる人気のアメリカのキャンプで、たっぷり2週間、友達と寝泊りをします。学園のスタッフが同行しますので、言語に不安な子どもも安心して参加することが出来たようです。乗馬や空中ブランコ、小型四輪駆動車運転や各種スポーツ等、毎日盛りだくさんのプログラムを大自然の中で体験しました。今年も多くの方にご満足いただけた育英学園のサマープログラム。子ども達の新しい夏の思い出が刻まれました。

お問い合わせ/サマー総合ディレクター：小山 由里子



レイクグリーリー「水上アクティビティ」



幼児部デイキャンプ「忍者修行」



野球教室「チーム対抗戦」



小学部デイキャンプ「理科実験」

日本語があまり話せないこともあり、少し心配でしたが、毎日とても楽しかったと息子が言っていました。来年も是非参加させて頂きたいと思っております。
デイキャンプ幼児部参加 年中女子保護者

盛りだくさんなプログラムで、子ども達が羨ましくらい、良い体験ができたと思います。ありがとうございました。
デイキャンプ幼児部参加 年少男児保護者

キャンプで習った歌や先生に教えていただいた折り紙を、一時帰国した際に祖父母に披露したいと言っていました。ご指導ありがとうございました。
デイキャンプ幼児部参加 年長女子保護者

育英のキャンプは、日本語だからという理由だけでなく、子ども目線で子ども達の好奇心や冒険心に沿ったカリキュラムが組まれていて、夏休みにぴったりだと思っています。お勉強もあり、バランスが取れていました。
デイキャンプ小学部参加 4年女子保護者

NYにいなが日本を体験できる貴重な日々でした。宿泊キャンプが終わった後から、毎日毎日「あと〇日しかない・・・」と寂しそうにカウントダウンするようになりました。寂しくなる位に楽しく充実した日々を過ごさせていただきました。
デイキャンプ小学部参加 1年男子保護者

日帰りスキー教室 & 宿泊スキーキャンプ

PW、マンハッタンからの学園スクールバスによる送迎あり!
(オプションとして)



<概要>

日帰り①	2016年 12月 11日(日)
キャンプI	2016年 12月 26日(月) ~ 12月 29日(木)
日帰り②	2017年 1月 8日(日)
日帰り③	2017年 1月 15日(日)
日帰り④	2017年 1月 29日(日)
日帰り⑤	2017年 2月 12日(日)
キャンプII	2017年 2月 20日(月) ~ 2月 23日(木)



NY育英学園の教員を中心とした経験あるスタッフ陣!
日本語でのスキー指導!

その他にもこんな魅力が!
育英スキーレンタル
レベル別のグループレッスン
学園職員による引率



- ** 宿泊キャンプの魅力 ****
- ◎手作りの温かい家庭料理
 - ◎貸し切りかつゲレンデに面したロッジ
 - ◎楽しいゲームやグループ活動
 - ◎スキー講習会



職員、ヘンリレー

対象	日帰り 小学1年生~中学3年生 キャンプ 小学3年生~中学3年生
定員	各回40名
費用	日帰り \$180 (申込金\$40+諸費用\$140) キャンプ \$820 (申込金\$50+諸費用\$770)
スキー場	Camelback Mountain Resort (ペンシルバニア州)
集合場所	NY育英学園 NJキャンパス 8 West Bayview Ave., Englewood Cliffs, NJ 07632

~先輩から一言~



えばらけいいちろう
江原啓一郎さん

1991年 9月 23日生まれ 25歳
1997年 3月 ~ 1999年 9月 ニューヨーク育英学園在籍
2016年 3月 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業
2016年 4月 NHK 入局
2016年 6月 NHK 長崎放送局 配属

はじめまして。私が5歳の時、父の仕事の関係で千葉県からニュージャージー州へ移り住むことになり、約2年半、ニューヨーク育英学園でお世話になりました。

今年、大学4年の終わりにこちらにお邪魔させていただきました。スクールバスや玄関口、そして先生方を見て、すべての記憶がよみがえってくるようでした。当時の学園生活で一番印象に残っていることは、水泳の授業で、初めて水に顔を付けることができるようになったことです。当時の水泳の先生に、およそ1時間、見守っていただきながら、やっとの思いで顔を付けることができました。今では懐かしい思い出です。

さて、私は今年6月からNHKの長崎放送局で仕事をしています。主な仕事は、日々のニュース読みに加え、番組のコーナーを作ることもしています。取材に出かけ、話を聞き、ロケもしてさらに映像の編集までやります。最後はナレーションをつけて放送に出します。今は、目の前の業務で精一杯ですが、1つだけ思うことは、相手のことを理解しようとする姿勢がいかに大切かということです。取材では、限られた時間の中で相手の情熱や思いを引き出さなければなりません。自分の価値観で人を判断せずに、まずは相手を理解しようとする、いろいろと疑問が浮かびます。そのなかで面白いエピソードを聞くことができるかもしれません。逆に、理解する姿勢がないと、誤って人を判断してしまうかもしれません。

ニューヨーク育英学園は、いろいろな人との交流の機会を、多く与えてくれる場所だと思います。自然と自分と違う価値観を持った人を理解する能力が養えるのは、大きなチャンスです。ぜひ皆さんには、この恵まれた環境を生かしてもらいたいと、OBとして願っております。



「理恵ちゃん、早く行くよ。」「はい。」
「お姉ちゃん、車にのせてあげて。」「はい。」
「理恵ちゃん、今日1時だよ。」「はい。」
「お姉ちゃんは2時半ね。」「はい、後でね。」
「行ってらっしゃい。」「行ってきます。」
「頑張ってるね。」「はいはい。」我が家の朝。
長女に見送られてもうじき3歳の次女と出勤する。



「お姉ちゃん、現地校だね。」「そうよ、理恵ちゃんはきりんさんだね。」
「そう、もうすぐ3歳だもんね。」すべて日本語の会話。この頃次女の言葉がめきめきと増える。1年生になる姉の後を必死に追いかける姿は、かわいいと同時に頼もしい。追いかける姉はといえば、きりんのへやに3年通った。そこで日本語の環境でのびのび育った。今は現地校に通いながら、サタデーNJ校そら組に毎週楽しく通っている。この9月から「習字」のクラスに通い始めた。習い事は「空手」。どれもNY育英学園にお世話になっている。4歳で初めて現地のプリスクールに入るまで、ほとんどが日本語の環境。英語が話せない、挨拶ができない、アメリカにいるのに恥ずかしい、という心配は一時横に置いておいて、徹底して、日本語環境を維持。その結果、アメリカ生まれ、アメリカ育ちだが、現地校でESLに入っている。ESLに在籍している引け目はなく、普通のクラスではリーダー役で、先生からお褒めの言葉もいただく。うちの中でもリーダーで妹をしっかり世話してくれる。半面仕切りすぎて反抗され、妹に泣かされる姿も長女らしくて笑ってしまう。

私はといえば、ピアノ教師の母の影響で音楽に目覚め、高校時代からアメリカ留学までオペラ歌手志望。ミシガンで7年間暮らしたのち、縁あってNY育英学園に採用していただいて、はや12年になる。2009年にりんごラーニングセンターのマネージャーを始めてもうはや7年。この3年間はサタデースクールNJ校の小学部主任も務めさせていただける。立場上、バイリンガル教育の相談を受ける機会がある。その際、自分の経験をもとにお話しようとしている。つまり、上のように日本語を徹底してやり続けてくださいとしかお答えしない。バイリンガル教育をされたらどのご家庭に聞いてもおそらく同じことを繰り返す言われるだろう。「辛いけどやり続けたいといけない」その辛さをできるだけ取り除いてやるのが、親や教育者の務めだと自分に言い聞かせている。

サタデースクールNJ校では9年間中高学年を担当した。今は主任の立場になってしまったが、現地校に通っている英語ベースの子たちが週に一度、日本語環境で繰り広げるダイナミックな人間模様はまだまだ大好き。我が家のバイリンガル教育も始まったばかり。長女、次女、それから今妊娠中の三女もサタデースクールを通して、バイリンガル教育を行っていく予定。みなさん、一緒にがんばりましょう。

記：りんごラーニングセンターマネージャー/半場 綾子



～2016年度ファンデレイジング・バザー報告～



学校法人ニューヨーク育英学園(ニュージャージー州イングルウッドクリフス、岡本徹学園長)でバザーが10月9日(日)、同校ニュージャージーキャンパスで行われました。あいにくの雨にも関わらず、たくさんの方にお越しいただき大賑わいでした。恒例の親子体力測定会をはじめ、企業寄付の食品販売、図書、衣類、雑貨、フードコート(カレーライス、豚汁、おにぎり、コーヒー、パン類、綿菓子、ポップコーン、保護者手作りのお菓子)、学園の児童会主催の「育英つ子祭り」、アートコーナーなどなど、最後まで熱気に包まれ、楽しいバザーとなりました。バザー一収益金は学園施設充実および奨学金にあてられます。**お問い合わせ/ファンデレイジング担当:半場 綾子**

2016年4月1日からNY育英学園バザーまで(2016年10月14日現在)に、奨学金基金・寄付金及び品物をご寄付頂いた企業と個人の皆様と、バザーにご出店頂いた企業の皆様を掲載しております。また、多くのボランティアの皆様によるご支援にも、感謝申し上げます。

奨学金基金&寄付金

企業の皆様

ANDO CHIROPRACTIC, LLC

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL U.S.A., INC.
Y'S PUBLISHING GROUP

LEMOINE DENTAL GROUP
PARKWAY TOYOTA

ADEKA USA Corporation
ADVOCARE PEDIATRIC OPHTHALMOLOGY ASSOCIATES
AMAZON.COM, INC.
AMERICAN JAPAN KARATE ASSOCIATION, INC.
DAICEL CHEMTECH, INC.
DAINOBU USA, INC.
DAIWA CAPITAL MARKETS AMERICA INC.
EDGEWATER FAMILY CARE
KATSUKO SALON INC
KELLYS AUTOMOTIVE SERVICE INC.
KISO & TANAKA, LLP
KONICA MINOLTA HEALTHCARE AMERICAS, INC.
MARUBENI CITIZEN-CINCOM INC.
NHK COSMOMEDIA AMERICA, INC.
NIPPON KAJI KYOKAI, NEW YORK OFFICE
NISSIN INTERNATIONAL TRANSPORT U.S.A., INC.
SCHEPISI & MCLAUGHLIN, P.A.
SOJITZ CORPORATION OF AMERICA
SUMITOMO REAL ESTATE SALES (N.Y.), INC.

AMNET NEW YORK, INC.
ANTAO & CHUANG ATTORNEYS AT LAW
BERGEN PROTECTIVE SYSTEMS
DAY PK OYAJI NO KAI
IGIVE.COM
IRM (U.S.A.) INC.
MINAGA INC.
OVERSEAS JAPANESE FAMILY DENTAL PLLC
REALTY INTERNATIONAL, INC.
SUZUKI FARMS, LLC
THE BOGLE AGENCY INC.
TREND POT NY, LLC

奨学金基金&寄付金

個人の皆様

D.M.D. ENDO, JULIE
MR. LAMPE, JORDAN & MS. ODA, YOSHIE
MR. SHIMADA, NAOYUKI
MS. SHIMAZAKI, RISA
M.D. SHIMMYO, MITSUGU

MR. DOI, SHINICHI
MS. HIOE, CATARINA
MR. KAMADA, SHIGETO
MS. KORN, CHIZUKO
M.D. KUWAMA, YUICHIRO & CHIKA
MR. NOZAKI, TOSHIHIRO
MR. SAKURAI, MOTOATSU
DR. TAKESHIGE, YOSHIKO

MR. ARIMA, KAZUTAKA
D.M.D. IMAEDA, HIROMU
MR. KADOTA, YOSHIMASA
MR. KANZAKI, STANLEY N.
MS. KIM, SAHO
MR. OKAMOTO, HIROHARU
MR. YAMADA, EISHUN

出店企業の皆様

ALICE CORP.
AMNET NEW YORK, INC.
IACE TRAVEL
KOSAKA'S KITCHEN, LLC.



品物

企業・個人の皆様

AJINOMOTO NORTH AMERICA, INC.
AKANE SALON
ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD. NEW YORK OFFICE
BENJAMIN STEAKHOUSE
BROTHER INTERNATIONAL CORPORATION
CANON U.S.A., INC.
CASIO AMERICA, INC.
CR FITNESS
DAIDO
DAIKIN AMERICA, INC.
FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL, INC. (FCI)
G.Q.S.S. CORP (SHIN NIPPON-DO)
HISAMITSU AMERICA, INC. (NJ)
HOLIDAY INN HASBROUCK HEIGHTS
HOUSE FOODS AMERICA CORPORATION
ITO EN (NORTH AMERICA) INC.
KANEKA AMERICAS HOLDING, INC.
KIKKOMAN SALES USA, INC.
KODANSHA USA, INC.
KOKORO INTERNATIONAL, INC.
LA RIPAILLE RESTRANT
MAXELL CORPORATION OF AMERICA
MCDONALD'S
METROPAGES INC.
MS. NAMBA, TAKEKO
NIHON SHIKA GROUP
NIPPON SHOSEKI HANBAI
PEKING DUCK HOUSE
SHARP ELECTRONICS CORPORATION
SYLVAN GRACE FLORIST
DR. TAKESHIGE, TAKEKO
TOLEDO RESTAURANT
WACOAL AMERICA, INC.
MR. YAMADA, EISHUN
YAMATO TRANSPORT U.S.A., INC.
Y'S PUBLISHING GROUP



Kyusyu Earthquake Relief Fund 2016 For Children and their Education from New York

九州大震災(熊本大分地方を中心とした大地震)において被災した子ども達への教育支援基金へのご協力のお礼とご報告

総額\$ 3,772.77 (as of 6/30/2016)

2016年4月16日に九州熊本、大分地方を中心に発生した大地震に対して、NY育英学園(米国非営利団体 501(c)3 NonProfit Organization)では、被災地の子ども達への教育支援のための義援金ファンドをこの度立ち上げ、皆様のご寄付を募って参りましたが、お陰様で多くのご寄付が集まりました。ご寄付はあしなが育英会熊本支部に全額送り、被災した子ども達の教育資金として充てて頂くことに致しましたので、ご報告致します。皆様のご寄付に感謝致します。以下、ご寄付頂いた方々です。

Mr. & Mrs. Seung Kang, Mr. & Mrs. Stephen J. Contillo, Ms. Keiko Hirota, Parents participated on Day & Sat NJ Sports Day, Mr. & Mrs. Shigeto Kamada, Mr. Tomokazu Tadokoro, Mr. Akira Yokozeki, Ms. Yumiko Kanei, Mr. & Mrs. Tsuyoshi Nimonjiya, Ms. Aya Yamaura-Timms, Mr. Satoshi Washio, Mr. Satoshi Washio, Mr. & Mrs. Paul Costaakis, Mr. & Mrs. Hiroo Takayama, Mr. & Mrs. Nagatomo Hamahata, Mr. Jordan Lampe, Ms. Yoshie Oda, Ms. Yuka Gieseke, Mr. Weston T. Eguchi, Mr. Takahisa Yui, Mr. Kent Yui, Ms. Miho Masumura, Ms. Mitsuko Young, Mr. & Mrs. Richards S. Landau, Ms. Kaori N. Takahashi, Manga Dojo (Ms. Nojiri, Komata Kireko), Ms. Chika Cawley, PW Donation Box, Mr. & Mrs. Naotake Yanagihara, Mr. & Mrs. Noritaka Fukuoka, Mr. Jingi Fukuoka, Mr. Yamato Fukuoka, Mr. Gouki Fukuoka, Ms. Iroha Fukuoka, Mr. & Mrs. Tetsuya Yamaguchi, Mr. & Mrs. Masahiro Kozuma (ご寄付氏名は受付日順。ご夫妻氏名は Mr. & Mrs. とさせていただきます。)



① The students of NY Ikuei Gakuen always look like they're having fun.
② They are so lucky.
③ chitter-chatter



④ We want to be the students of NY Ikuei Gakuen, too.
⑤ But we are ghosts.
⑥ Is there any way...?



⑦ Join us for NY Ikuei Gakuen Halloween Party
⑧ Please wear your costumes.
⑨ That's it!



⑩ Your costumes look so real.
⑪ Good! They don't recognize us.
⑫ Cool!
⑬ Awesome!
⑭ Nice!
⑮ Wait, it looks like we have more students than usual...
BY コマタキレコ (KIREKOKOMATA)

